

人材育成など

松山大と連携

県法人会連合会協定

県法人会連合会（森田浩治会長、会員約1万5千社）と松山大（溝上達也理事長）は5日、人材育成などに関する連携協定を結んだ。

協定は人材育成のほか、産業振興や地域活性化促進など6項目。同会会員が学

生向けに行う講義などを計画している。



連携協定に署名する溝上達也理事長（右）と森田浩治会長（中央）は5日午後、松山市文京町

5日は松山市文京町の同大で調印式があり、森田会長と溝上理事長が署名。森田会長は「松山大の知的財産の活用や、連合会のネットワークを利用した企業情報の発信など相互の強みを生かした事業を積極的に展開したい」と意欲を見せ、溝上理事長は「学生にキャリア設計の学習機会を提供してもらえる。共に地域創生に貢献できるよう努めた」と話した。（宇都宮理恵）